

甲斐市立敷島南小学校 自己評価書

令和2年2月21日(金)作成

校長 「三枝 孝太郎」

記述者 職名 (教諭)「中山 素」

学校教育目標

《総括目標》 『豊かな人間性とたくましく生きぬく力を身につける子どもの育成』

具体目標

- ・明るく健やかな子ども
- ・心豊かで思いやりのある子ども
- ・よく学びよく考える子ども
- ・進んで行動しやりぬく子ども

学校経営方針

- (1) 信頼と愛情に基づく人間教育を推進し、心が通じ合う温かさと活力のある学校の創造と学校教育目標の具現化に努める。
- (2) 子どもの人権を尊重し児童理解と居場所づくりに努め、集団への所属感、自己有用感、成就感を味わわせる教育を推進し、児童個々の能力や個性を伸ばす教育を推進する。
- (3) 自他の生命を尊ぶ教育を推進するとともに教師・児童の心身の健康管理に努める。
- (4) 教職員一人一人が学校経営への参画意識を持ち、個々の能力や個性を生かし組織的・計画的・継続的な教育活動を構築する。
- (5) H Pの更新などの学校情報の発信並びに学校公開に努め、保護者、地域の思いや願いに寄り添う開かれた学校、特色ある学校の具現化に努める。
- (6) P (計画) D (実践) C (点検) A (見直し) の組織マネジメントサイクルを活用し、説明責任と結果責任を果たすことのできる教育活動に日々努める。
- (7) 家庭・地域との連携によるP T A活動の充実、地域学習の素材や人材の活用、外部講師の招請など、それぞれの教育力を生かす中で、地域に根ざした教育の推進に努める。
- (8) 学区の交通の利便性の高まり、大地震発生時の対応が迫られる中、保護者・行政・地域と連携協力し、児童の生命の保全、安心安全の確保を図る。
- (9) 指導要領の理念を共有し、教職員の意識改革や授業改善につながる授業研究を主体とした同僚性、協働性のある校内研修を推進する。
- (10) 特別な支援の必要な児童に対する指導、援助について学校全体で対応する体制を構築し、ニーズに応える教育を推進する。

1 全体評価

- ・学校経営方針に基づき、教育目標の実現に向けて、一人一人の教職員がそれぞれの職務を遂行してきたことにより、今年度の自己評価、児童用アンケート、及び保護者用アンケートの結果は、肯定的回答の割合が多かった。このことから、敷島南小学校の総合評価は良好な水準にあると考えられる。

2 項目ごとの評価結果 (達成状況・改善策)

I 学校教育目標に関して・学校経営について

達成状況	<ul style="list-style-type: none">・全体的に肯定的な評価が多く、校長のリーダーシップのもと、学校教育目標達成に向けた学校経営が行われていると捉えることができる。・I - 1「学校教育目標が、学校経営方針を踏まえたものになっている。」は、A回答が約70%・I - 3「学年の教育活動計画が、教育目標や重点目標を踏まえたものになっている。」は、肯定的回答(AB)は100%である。・I - 5「あなたの学校は、P→D→C→Aサイクルで教育活動が取り組まれている。」の項目は、肯定的回答(AB)が100%である。I - 6「あなたは、P→D→C→Aサイクルを生かした教育活動を行っている。」の項目は、他と比べてA回答(29%)が少ないが、肯定的回答(AB)は96.7%である。
------	---

改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営の基本方針にあるように、教育活動などにおいて、P（計画）D（実践）C（点検）A（見直し）の組織マネジメントサイクルを活用し、今後も学校教育目標の実現に向けて全教職員で意見交換や振り返りをし、改善策（慣例ではなく、よりよい方向へ）をもとに組織的、機動的に実践していくとともに、一人一人の教育活動の実践につなげていく。
II 学校運営について（保護者用アンケートなども含めて）	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に肯定的な評価が多く、教職員一人一人が主体的に学校運営に参画していることと捉えることができる。 ・II - 2「危機管理マニュアルを理解している。」はA回答が46.9%、II - 8「校内研究(研修)に主体的に関わっている。」はA回答が30%である。 ・保護者 Q1「お子さんにとって学校は楽しいところだと思う。」の項目は肯定的回答が95%、昨年度は97%で2ポイント低下。 ・保護者 Q4「学校は保護者・地域住民からの声に耳を傾けていると思う」は80.7%で、前年度は87.6%で7ポイント低下。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルを一度で全て熟知することは難しいことなので、いかなる場合においても適切な判断で行動できるように、定期的にマニュアルなどを確認する機会を設ける。また、避難訓練や防犯訓練は、実際の場面に生かすことを意識しながら、臨場感のある訓練を今後も実施していく。 ・全教職員が校内研究に主体的に関わって取り組むことができるように、授業研究を中心に進めていく。 ・引き続き、魅力ある学校を目指して地道な取組を進めたい。 ・よりていねいに保護者と向き合い、説明していくことを一人一人の教職員が意識していく。
III 学習指導について（児童生徒用及び保護者用アンケートなども含めて）	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員用アンケートでは、全体的に肯定的な評価が多い。 ・III - 1「民主的で規律のある学級、学年、学校集団づくりを行っている」は、A回答の方が多い。III - 5「評価基準と方法を明確にした授業」とIII - 3「基礎、基本の定着を図る授業」の項目は、A回答よりB回答の方が多い。 ○【児童用アンケートより】 ・Q5「学校の授業は楽しいですか。」の項目は90.7%で、前年度は94.3%で約4ポイント低下。 ・Q6「先生はよく勉強を教えてくださいますか。」Q7「国語の授業の内容はわかりますか。」Q8「算数の授業の内容はわかりますか。」の項目は、肯定的回答が90%以上である。 ・Q9「授業(勉強)でわからないことがあったら、先生に聞いていますか。」の項目は、肯定的回答が80.3% ・Q11「授業中に質問や意見を言っていますか。」の項目は、肯定的回答が70.6% ○【保護者用アンケートより】 ・Q8「お子さんは授業の内容がわかっていると思う。」の項目は、肯定的回答が88.5% ・Q11「学校は熱心に授業に取り組んでいると思う。」の項目は、肯定的回答が92.8% ○「家庭学習」について ・教職員：III - 8「宿題や家庭学習に対する指導」の項目は、A回答よりB回答の方が多い。 ・児童：Q12「宿題を忘れずにしていますか。」の項目は、肯定的回答が90.8% ・保護者：Q12「お子さんは、宿題(課題)を忘れずにしていますか。」の項目は、肯定的回答が97.3% ・児童：Q13「月曜日から金曜日までは学校以外で学年の目標時間の勉強をしていますか。」の項目は、肯定的回答が76.8% ・保護者：Q13「お子さんは、宿題の他にも家庭で自主学習(学校からの指示は含む・但し、塾や家庭教師は除く。)をしていますか。」の項目は、肯定的回答が53.5%

	<p>○「道徳教育」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員：Ⅲ - 9「児童の実態に応じた内容項目を設定し、道徳の時間の確保と内容の充実に努めている。」の項目は、A回答よりB回答の方が多い。 ・保護者：Q23「学校は道徳教育に力を入れて取り組んでいると思う。」の項目は、肯定的回答が75.5%である。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査や本校独自に行っているC R T学力検査の結果を踏まえて、アクティブラーニング(主体的な学び、対話的な学び、深い学び)や「やまなしスタンダード」を視点に、基礎基本の定着と児童の思考力、判断力、表現力を高めるための授業改善を図っていく。 ・それぞれの学習において、児童に身に付けさせたい力は何かを明確にし、ねらいが達成できるための手立て(学習形態や学習過程なども含めて)を常に考えて授業を実践していく。 ・家庭と連携し、家庭学習の内容を工夫し学習習慣の定着を図る中で、意欲的に学習に向かう態度をいっそう養っていく。「家庭学習のすすめ」をきっかけに、家庭学習を保護者にチェックしてもらうなどの強化週間を設定してさらに取り組んでいく。 ・道徳の時間では、自ら考え、他者と対話したり体験的な学習をしたりして、よりよい方向を目指す資質、能力を育む授業を行っていく。
IV 生徒指導について（児童生徒用及び保護者用アンケートなども含めて）	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員Ⅳ - 3「生き方教育（キャリア教育・進路指導）の実施」Ⅳ - 4「問題行動の早期発見・早期対応」の項目は、A回答に比べてB回答の割合が多い。 ・Q21「学校のきまりや約束を守っている。」という児童の肯定的回答は93.8%、Ⅳ - 2「規範意識をはぐくむ指導に取り組んでいる。」という教職員の肯定的回答は93.3%、Q6「学校が子ども達の間違った行動を指導していると思う。」という保護者の肯定的回答は、87.1% ・Q3「困ったことがあったら相談できる友達がいる。」という児童のA回答は86.2%、Q14「お子さんには、困ったことがあった時に相談などのできる友達がいる。」という保護者のA回答は前年度61.4%で、今年度は66.1%で約5ポイントアップしている。Q10「困ったことがあったら相談できる先生がいる。」という児童のA回答は78.9%、Q15「お子さんのことで相談できる先生がいる。」という保護者のA回答は77.1%である。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・生き方教育（キャリア教育、進路指導）については、キャリア教育年間指導計画をもとに教育活動のあらゆる場面で実践し、学校教育全体で指導、充実を図っていく。 ・生徒指導において、情報交換と共通理解の場を常に設け、全教職員で対応できる体制を今後も構築していく。 ・本校の「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめをはじめ問題行動を許さない校内の雰囲気作り、未然防止の指導を継続していく。また、「ハイパーQU アンケート」「明るく楽しい学校にするためのアンケート（いじめアンケート）」を今後も定期的に実施しながら、いじめや問題行動の早期発見、迅速で正確な事実確認のもと、校長を中心に学校組織として早期対応を図るとともに、再発防止や予防に今後も努めていく。 ・児童が何か困ったことがあった時にはいつでも教職員に相談できるように、児童理解に努める。また、日頃から保護者と連携を密にして信頼関係を深めていく。
V 地域との連携について	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員Ⅴ - 3「学校の教育活動について、たよりやホームページを通して、保護者や地域に広報している。」の項目のA回答は56.3%であり2番目に多い。保護者Q3「学校・学年・学級だより、ホームページなどから教育活動の様子を知ることができる。」の項目の肯定的回答は91.9%である。 ・保護者Q4「学校は、保護者・地域住民からの声に耳を傾けていると思う。」の項目の肯定的回答は80.7%あり、教職員Ⅴ - 2「保護者や地域の願いに応えるための機会の設定と情報収集の実施」の項目の肯定的回答は90.3%である。 ・教職員Ⅴ - 1「地域の人材や施設の活用、地域の教育力を生かす指導」のC回答が3名。 ・教職員Ⅴ - 7「保護者が学習指導や生活指導に協力的である。」の項目は肯定的回答93.8%

改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も絵画、稲刈り、合唱や本の読み聞かせボランティア、地元企業からの出張授業（醤油、豆腐作り）など、地域の方による学校教育への参画の機会があった。また、ミシンの学習や昔の遊び集会では、保護者に協力していただき、児童の学習活動を支援していただいた。さらに、地域の公共施設や地元のお店を見学した学年もあった。今後も地域人材を活用し、地域の教育力を生かした教育実践を充実させていく。 ・学校が教育活動を円滑に進めるためには、家庭や地域の理解と協力が不可欠である。日頃から行っている連絡帳や電話を通しての対応、家庭訪問や学年、学級懇談会、個別懇談や地区懇談会で家庭や地域の方々の話を聞く場を、今後も大切にしていきたい。併せて、学校、学年、学級だよりやホームページでの学校の考えや教育活動の様子発信など、今後も学校教育への理解と協力を得る取組を続け、開かれた学校作りを推進していく。
VI 学校の特色に関して	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員用アンケートでは、VI - 2「授業参観日や学校開放日を保護者や地域に伝え、定期的実施している。」の項目のA回答が68.8%で、最も多い。また、Q5「授業参観や学校開放日などは、子どもの様子を知る機会になっている。」の項目の保護者の肯定的回答は97.8%である。 ・VI - 5「児童の言語活動の充実のために言語環境を整えている。」の項目は肯定的回答が93.8%。 ○「挨拶」について <ul style="list-style-type: none"> ・教職員：VI - 1「児童が進んで挨拶をするよう、指導に努めている。」の項目の肯定的回答は90.6% ・児童：Q26「学校で進んで挨拶をしている。」の項目の肯定的回答は95.5%、Q18「地域の人と出会ったら挨拶をしている。」の項目の肯定的回答は91.7% ・保護者：Q16「学校は子ども達に学校外でも挨拶をするように指導していると思う。」の項目の肯定的回答は80.3%、Q17「ご家庭では、家族で互いに挨拶をしている。」の項目の肯定的回答は96.8%、Q18「ご家庭では、お子さんに地域の人々と出会ったら挨拶をするように言っている。」の項目の肯定的回答は88.4% ○「掃除」について <ul style="list-style-type: none"> ・教職員：VI - 6「児童の指導に努めている。」の項目の肯定的回答は96.8% ・児童：Q22「清掃活動をしっかりしている。」の項目の肯定的回答は96.9% ・保護者：Q26「ご家庭で、お子さんに掃除をさせている。」の項目の肯定的回答は64.1% ○「学校行事や児童会活動」について <ul style="list-style-type: none"> ・教職員：VI - 4「児童に進んで取り組むよう、指導に努めている。」の項目の肯定的回答は93.8% ・保護者：Q24「学校行事を通して、お子さんの成長が見られる。」の肯定的回答は97.8%
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の掲示物、授業での板書、教職員と子どもの会話、放送などを創意工夫し、言語環境の充実化を図る。 ・掃除、挨拶は今後も教職員自らが模範を示す。特に無言清掃、気持ちの良い挨拶への取組は継続して行う。

ま 3 まとめ

と <成 果>

- ・教職員の積極的な姿勢による，充実した教育活動への取組。
- ・児童の学力向上につなげる授業実践。
- ・友達と仲良くし，進んで学習し，学校生活を楽しむ児童の姿。
- ・児童の規範意識の向上。

め <課 題（いっそう充実させたい事項）>

- ・危機管理マニュアルの周知徹底。
- ・家庭学習（宿題以外）の自主的な取組の指導。
- ・児童の道德性のさらなる育成と「特別な教科 道德」の趣旨を生かした授業の取組。
- ・児童が友達や教職員に，保護者が教職員に何でも相談できる体制。
- ・信頼される学校づくり。